

## 令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【2年目】

P T A名	静岡県立浜名特別支援学校 P T A					
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	122人				

### 1. 使用状況

寄贈物品名	平均台セット・複合バランス遊具 (レインボーバランスストーン ウエイブバランス平均台)
使用学年及び人数	小学部49人
使用頻度	毎日(授業で使用する時)
使用状況	<p>1学期の体育で、主に3年生が体育の授業で使用した。          体づくりの単元で、平均台や飛び石のようにしてバランスを取りながら歩くサーキット運動に取り入れた。          また、他学年も自立活動の時間に、教室に持ち運んで使用することもあった。</p>
物品の使用による 変化や効果 ※1年目との違いを 含めご記入ください。	<p>通常の平均台より低く、高さがないため、高さのある遊具を歩くという恐怖心がない。高さが異なったり凸凹があることで、身体のバランスを取りながら歩いたり、足裏に刺激を受けたりしながら使用することができる。                  また、児童の発達段階に合わせて遊具の組み合わせを工夫することができる。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>体育や自立活動の時間に、バランス感覚を養う、調整する力を養うことができるため、引き続き使用する。教育課程上、授業の重なりがあるため、使用頻度が高い時には、使用学年が限定される。</p>
その他希望や所感など	<p>コンパクトに収納でき軽量なので持ち運びやすく、児童の力で準備、片付けができる。</p>

## 2. 活用の様子



児童の様子や取り組みたい運動に合わせて遊具を配置した。児童は自分でバランスをとりながら遊具から落ちないように進んでいく。上手に遊具の上を歩けたときには笑顔が見られた。裸足で取り組むことで、足裏の刺激にもなっている。

